



高速しが

令和2年
(2020)
3月号

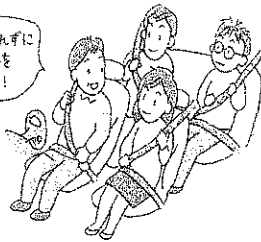
発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

忘れずに 全席シートベルトの着用を!!

車で走行中、乗車している人は車と同じ速度で進んでいるのです。人と車は一心同体、車が急に止まれないように、人の体も急には止まりません。

特に高速道路では時速100キロメートルという高速で走行するため、シートベルトをしないで衝突した場合、その衝撃を支えきれずハンドル、フロントガラス、左右のドア、等に打ち付けられてしまいます。後部座席では、前席、フロントガラス、後部ガラス等思わぬ方向へ飛ばされ車内に打ち付けられ、時には窓ガラスを打ち破ったり、開いたドアから車外に放出されることもあります。

後部の席でも忘れずに
シートベルトを
締めましょう!



車外へ放出されると、路面へ打ち付けられる衝撃の大きさや、後続車に撥ねられるなどして、死亡に至るケースもあるのです。

後部席で怪我等した人のうち、約50%がシートベルト非着用で、その中で約7割以上の方が車外放出等によって亡くなられているのが現状です。

- ※ベルトはねじれの無いように装着しましょう
- ※バックルは「カチッ」の音を確認しましょう

高速道路での「逆走」が増加!!

【高速道路での逆走事故を防ぐポイント】

- 進行方向をしっかりと確認する！
インターチェンジやサービスエリアなどから本線に流入する時は、案内標識や道路標示で進行方向をしっかりと確認しましょう。
- 高速道路は、Uターンや後退は絶対禁止！
インターチェンジを通り過ぎた時は、次のインターチェンジまで行き、高速道路を降りてから再度利用しましょう。

路肩には危険が一杯！

高速道路の本線上は、時速100km近くの高速で車が行き交う危険な空間です。

事故や故障でやむを得ず本線上や路肩に停車したとき、一般道と同じ感覚で行動すると思わぬ事故に巻き込まれます。

緊急時、やむを得ず路肩等で停車するときには、次のことに注意して悲惨な交通事故を防止しましょう。

事故や故障で緊急停車したときは

※ ハザードランプを点灯し、可能な限り車を路肩に入れる。

※ 追突防止のため三角停止板や発煙筒を利用する。

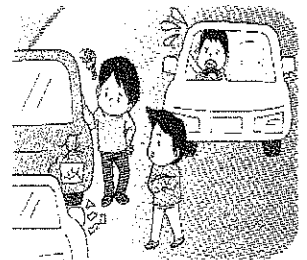
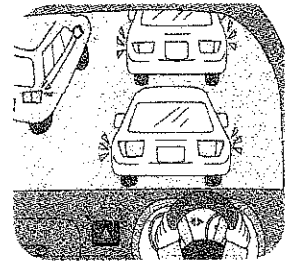
※ 救援を待つ間は、ガードレールの外など安全な場所に避難する。

※ 路肩や本線上で事故当事者同士の話し合いをしない。

※ 路肩でパンク修理やタイヤチェーンの脱着をしない。

※ 本線上は絶対に横断しない。

※ トンネル内では、非常停車帯に停車させるか、可能な限りトンネル外の路肩に移動する。



高速道路の『路肩』は
安全な場所ではありません！

事故等非常の場合には、ハザードランプを点灯し、余裕があれば発煙筒を使用した後、停車した車から素早く離れ、必ず高速道路外（ガードレールの外）へ避難してください。